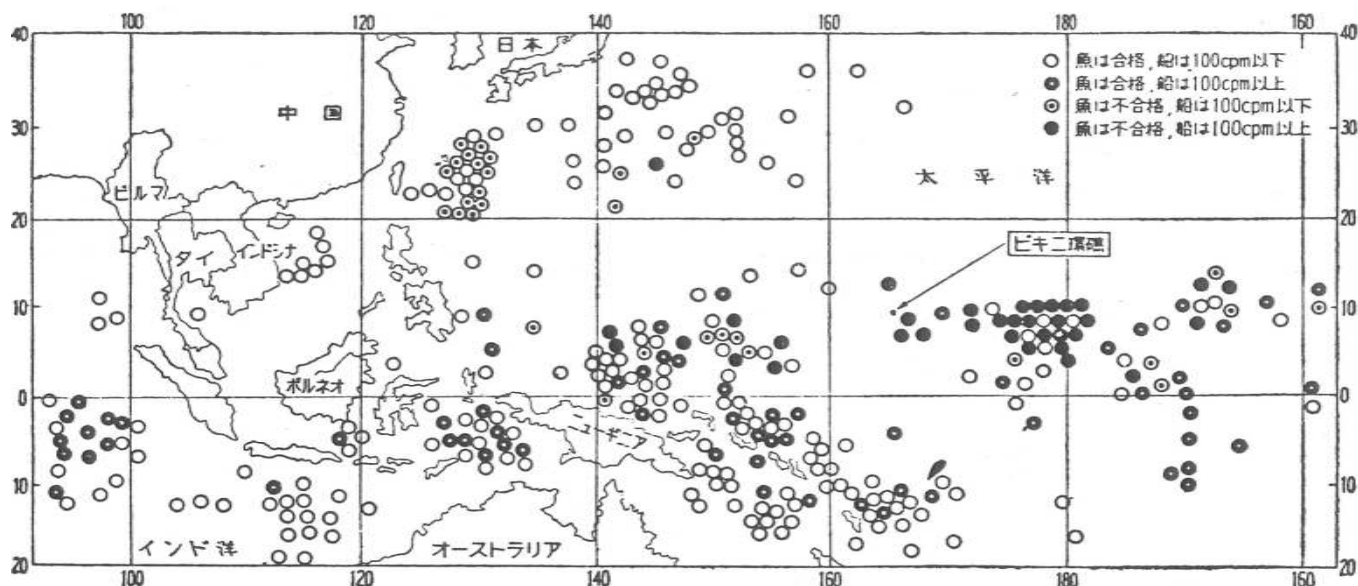


太平洋核実験・被ばく船員を追って



太平洋核実験70年・・・

1954年3月1日ビキニ水爆実験ブラボーによる第五福竜丸の被ばく、広範囲の海洋が汚染され、漁船が被災しました。

被害の全容を追い求め30有余年にわたり、さまざまな取り組みがおこなわれてきました。

いま、船員時代の被災に対する労災認定も模索されています。

1946年に始まった太平洋核実験から70年。

被害や影響の全容解明をめざして、核実験被害の概要や開示された資料、証言などさらなる課題を提起、討議します。

<上図・田島英三「漁船はどうして放射能に汚染されたか」『自然』1954年12月号より>

2月27日(土)

午後2時～4時半

東京スポーツ文化館BumB

研修室B(2階)

(新木場駅徒歩12分)

夢の島公園内・展示館徒歩5分)

資料代500円 定員100名

「太平洋核実験を概観する」

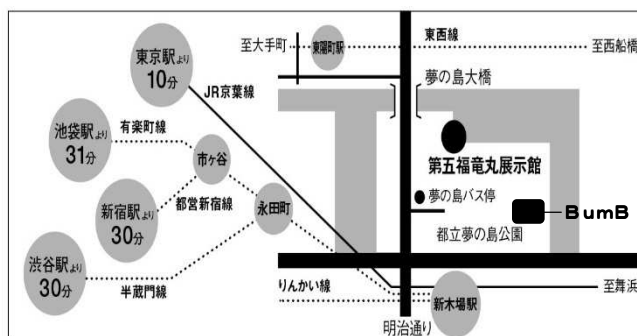
豊崎博光 (フォト・ジャーナリスト)

「30年におよぶ高知の漁師との対話」

山下正寿 (太平洋核被災支援センター)

「東北・岩手の漁船をさがして」

吉田栄一 (高校講師)



問合せ/TEL.03-3521-8494 URL:<http://d5f.org>

アクセス/JR京葉線、メトロ有楽町線、りんかい線新木場駅徒歩10分・夢の島公園内、メトロ東西線東陽町よりバス(新木場方面)夢の島下車3分

<主催・お問い合わせ>

第五福竜丸平和協会

電話 03-3521-8494

URL d5f.org